

# 一般会計歳入歳出総額 277億5,000万円



～子どもたちが帰ってきたくなるまちづくりを目指します～

**7 スポーツ振興と文化の継承**  
生涯スポーツの振興と若い世代の競技力の向上を図るため、スポーツ備品の購入や大会出場への支援を行います。また幅広い年齢層からの社会参加や心身の健康促進、交流を行

**6 観光振興**  
曾於市観光協会を核とした観光地域づくりを進めることで、持続可能で発展的な観光振興と特産品の販売に努めます。さらに道の駅やキャンプ場などの観光施設を充実させ、五感で魅力を味わう体験型観光など観光メニューを拡充し、交流人口増に努めます。またSKLVと連携した観光ルートの整備や高規格道路圏の連携による広域観光ルートの構築をはじめ、地域資源の活用も含めた新たな魅力の創出を図ります。

定保健指導実施率の向上に努めるとともに、訪問給食サービスや在宅介護支援など各種支援事業の充実を図ります。地域の交通政策として、思いやりタクシー・バスは、高齢者の重要な移動手段であることから、今後も持続可能な公共交通網の形成に向けた取り組みを行います。また市が指定する4地区のコミュニティ協議会へ運行業務を委託する共助によるモデル事業に取り組みます。

「子どもたちが帰ってきたくなるまちづくり」を職員と一体となって実現するため、予算を編成しました。その結果前年度当初予算に対して、7億1000万円、26%の増となりました。また特別会計予算は、前年度当初予算に対して、1億2865万5千円、11%の増となりました。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

**8 防災対策**  
南海トラフ地震に備え地域全体の防災力を強化するため、自主防災組織との連携を推進するとともに、災害時における対応能力を向上させる市の防災体制の強化を図ります。またインフラの補修整備や自然災害を未然に防止するための社会基盤整備に取り組みます。

う活動として新たにUDeスポーツに取り組みます。文化の継承においては、今後も地域に残る文化財や郷土芸能の保存・継承に努め、本市の歴史と伝統を守ります。また地域文化の保存や継承など重要な役割を担う市史編纂事業に取り組みます。



## 特集 令和8年度当初

# 曾於市の予算



お問い合わせ 財政課 財政係 ☎0986-76-8803

## 令和8年度施政方針

曾於市長 竹田正博

### はじめに

市民の皆さまの声を耳を傾け、市民の皆さまと対話し、市民の皆さまの暮らしと福祉を守り「子どもたちが帰ってきたくなるまちづくり」を実現するため、「健全財政」・「産業の振興」・「雇用の創出」・「子育て支援」・「高齢者福祉の充実」・「観光振興」・「スポーツ振興と文化の継承」・「防災対策」を8つの柱として、全力を尽くしてまいります。

### 施政方針概要

#### 1 健全財政

持続的な「健全財政」に向けた、自主財源確保のため「ふるさと納税30億円」の目標を掲げ、活動内容の充実を図りながら全力で取り組みます。ふるさと納税については現在までに全国から多くの寄附金をいただいております。御礼として本市の特産品を贈呈しています。曾於市を応援していただいた全国の皆さまに心より感謝申し上げます。令和8年度も本市の全国的なPRと地域活性化に努めます。

#### 2 産業の振興

農業後継者等育成対策事業について、55歳までの対象者の年齢制限と所得制限を撤廃し、新たな担い手育成確保を図ります。またスマート農業の推進を図るため、農業機械導入に向けた支援に取り組みます。商工業後継者育成事業についても年齢・所得制限を撤廃し、新規就業者への支援強化を図ります。本市の基幹産業である畜産は、農畜産物生産実績において約82%を占め、食糧供給基地としての重要な役割を担っています。今後もJAなど各関係機関団体と連携しながら畜産振興に努め、生産基盤の維持拡大に努めます。

#### 3 雇用の創出

都城末吉道路および曾於志布志道路の整備を見据え、新たな工業団地整備に向けた産業用地整備アドバイザー事業を導入し今後の企業誘致を推進します。また市内企業の人材確保を支援するため、地元企業と連携したインターンシップの促進を図るとともに、市内立地企業で構成する「立地企業懇話会」と連携しながら、企業の魅力発信や合同企業説明会なども引き続き取り組みます。雇

#### 4 子育て支援

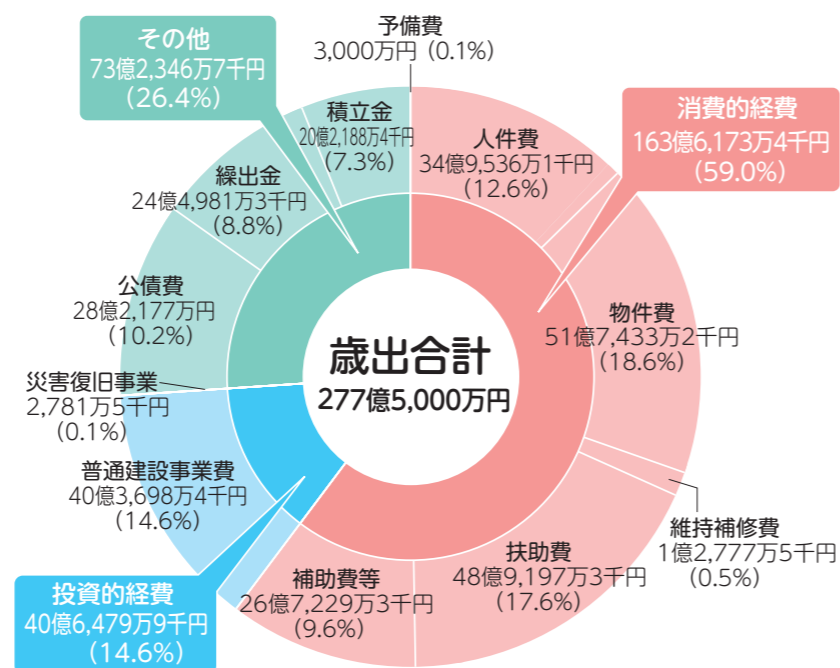
母子保健・児童福祉機能が一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」の機能充実を図ります。あわせて全年齢での保育料無償化を継続します。また経済的および子育て支援として、出生届出時から1歳児相談時までの乳幼児を対象に、おむつと粉ミルクの支給を開始します。さらに小児科施設への支援や運営費補助を行い、小児科医の誘致を推進し医療体制の促進に取り組みます。教育分野では新たに小・中学校などへ入学する新1年生を対象とした入学おめでとう祝金制度の創設として、スクールスタートアップ事業を開始します。

#### 5 高齢者福祉の充実

高齢者の健康づくりや社会参加活動を進めるため、体操教室などの通いの場を充実します。あわせて健康寿命延伸のため特定健診受診率や特

# 歳出

人件費は職員給および会計年度任用職員報酬などの増により、1.6%増の34億9,536万1千円となり、物件費は思いやりふるさと寄附金推進事業の特産品PR推進委託料などの増により、8.8%増の51億7,433万2千円を計上しました。維持補修費は道路維持費などの減により、64.9%減の1億2,777万5千円、補助費等は学校給食費負担軽減補助金などの減により、6.6%減の26億7,229万3千円を計上しました。普通建設事業費は末吉小学校改築工事などの増により、8.8%増の40億3,698万4千円、公債費は償還元金の減により、3.1%減の28億2,177万円を計上しました。積立金は思いやりふるさと基金積立金などの増により、25.4%増の20億2,188万4千円を計上しました。



# 予算を一般家計にたとえてみると

令和8年度一般会計予算を曾於市の一世帯あたりの平均所得に置き換えてみました。支出533万4千円に対し、収入の自主財源は35.0%・187万円です。そのため収入の残り65.0%・346万4千円は依存財源に頼っています。

令和4年市町村民所得推計で換算



## 収入

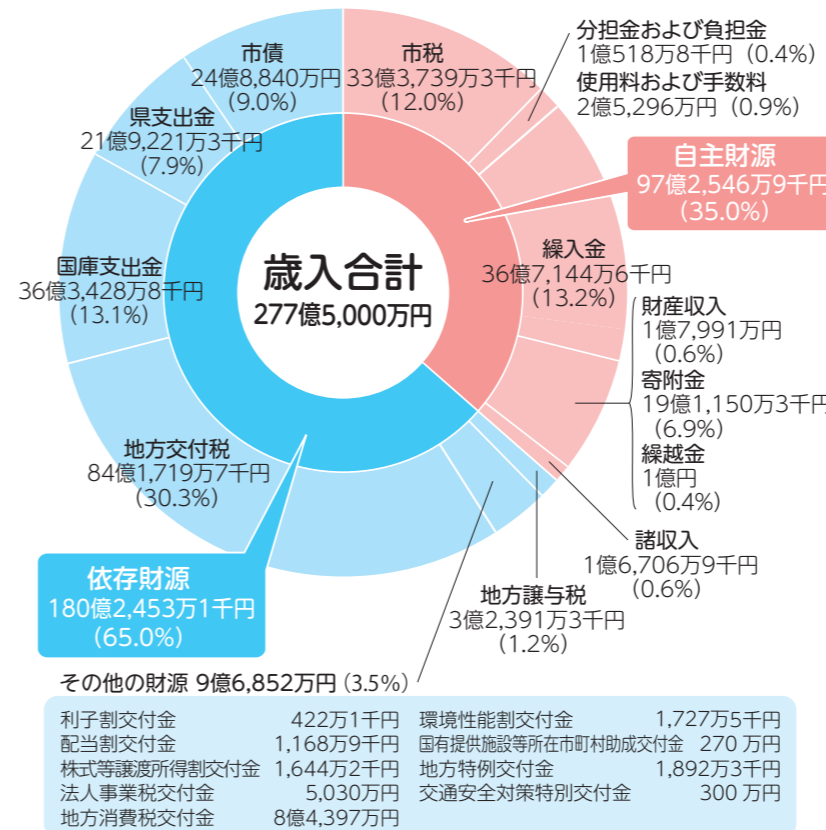
項目	金額	構成比
給料(市税)	64万2千円	12.0%
パート収入やアパートの家賃収入など(使用料・手数料・雑収入など)	50万3千円	9.4%
預金の取り崩し(繰入金)	70万6千円	13.2%
前年度からの繰越金	1万9千円	0.4%
親からの援助(地方交付税・国庫支出金など)	298万6千円	56.0%
借金(市債)	47万8千円	9.0%
合計	533万4千円	100.0%

## 支出

項目	金額	構成比
食費(人件費)	67万2千円	12.6%
光熱水費・日用雑貨(物件費)	99万5千円	18.6%
家などの修理(維持補修費)	2万4千円	0.5%
医療費(扶助費)	94万円	17.6%
自治会費・サークル費(補助費など)	51万4千円	9.6%
家の新築増改築費(普通建設事業費など)	78万1千円	14.7%
ローンの返済(公債費)	54万2千円	10.2%
定期預金(積立金)	38万9千円	7.3%
子どもへの仕送り(繰入金)	47万1千円	8.8%
予備費	6千円	0.1%
合計	533万4千円	100.0%

# 歳入

自主財源のうち市税は、前年度までの課税状況を基に推計し固定資産税の家屋や償却資産の増などにより、1.0%増の33億3,739万3千円を計上。繰入金は思いやりふるさと基金繰入金や過疎地域持続的発展特別事業基金繰入金などの減により、10.9%減の36億7,144万6千円です。市の自主財源比率は35.0%であり、昨年度と比較して1.4%の減です。一方、依存財源のうち歳入全体の30.3%を占める地方交付税は、84億1,719万7千円を計上。地方交付税のうち普通交付税は、前年度実績などを考慮し2億8,331万3千円、3.6%増の81億1,719万7千円となりました。国庫支出金は、学校施設環境改善交付金や障害者自立支援給付費国庫負担金などの増により、10.7%増の36億3,428万8千円を計上し、市債は本庁舎改修事業などの減により、2.8%減の24億8,840万円を計上しました。



# 会計予算規模

\*水道事業会計・公共下水道事業会計は収益的支出と資本的支出の計。

区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	277億5,000万円	270億4,000万円	7億1,000万円	2.6%
特別会計				
国民健康保険特別会計	54億2,863万6千円	54億4,355万1千円	-1,491万5千円	-0.3%
後期高齢者医療特別会計	7億7,716万6千円	7億975万7千円	6,740万9千円	9.5%
介護保険特別会計	56億4,301万7千円	55億6,138万7千円	8,163万円	1.5%
生活排水処理事業特別会計	5,954万9千円	6,501万8千円	546万9千円	-8.4%
小計	119億836万8千円	117億7,971万3千円	1億2,865万5千円	1.1%
水道事業(支出計)	10億9,401万円	10億4,471万4千円	4,929万6千円	4.7%
公共下水道事業(支出計)	7億5,706万9千円	4億1,837万8千円	3億3,869万1千円	81.0%
合計	415億944万7千円	402億8,280万5千円	12億2,664万2千円	3.0%

### 地域の絆を深める 協働のまちづくり

**自治会振興助成金**  
4,706万 6千円

各自治会に行政連絡員を配置し、自主的活動が展開出来るよう推進を図ります。

**地域コミュニティ推進事業**  
3,795万 6千円

自治会加入促進を継続的にしながら、地域コミュニティ協議会を設立するモデル地区へ補助を行うことにより、新たな地域コミュニティの活性化推進を図ります。

**奨学金返還支援事業**  
1,600万円

奨学金返還支援を通じて若者のUターンを促進し、本市への定着を図ります。



### 豊かな自然・環境を 守り活かすまちづくり

**曾於市グリーンセンター管理費**  
2億6,244万 3千円

施設の良好な維持管理により、生活環境から排出されるごみの適正な処分を行います。

**ごみ減量対策費**  
2億 1,709万 7千円

資源ごみのリサイクル化とごみの減量化および環境保全への取組を強化します。

### 市民から信頼される 行政経営

**情報発信事業**  
7,259万 6千円

市内外に施策・制度などを情報発信するため、広報紙の発行やホームページのリニューアルなどを行います。

**思いやりふるさと寄附金  
推進事業**  
30億 1,781万 8千円

思いやりふるさと寄附金の募集や特産品の発送により、特産品の全国的なPRを図ります。

### 力強い産業のまちづくり

**新規就農者補助金**  
1,146万円

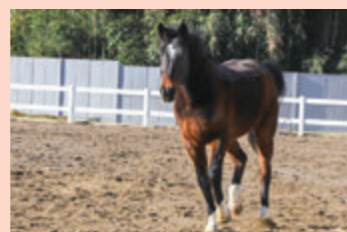
55歳までの対象者の年齢制限と所得制限を撤廃し、新規就農者および農業後継者のさらなる育成支援を行います。

**商工業新規就業者補助金**  
1,980万円

55歳までの対象者の年齢制限と所得制限を撤廃し、新規就業者および商工業後継者のさらなる育成支援を行います。

**南九州畜産獣医学拠点事業**  
3,793万 7千円

畜産業の持続的発展および将来を担う産業動物獣医師の育成を図ります。全国の獣医学部生の実習受け入れや馬エリアにおいて交流人口の増加を図り、市外からの新しい人の流れを作ります。



「豊かな大地と 人の絆が  
未来につながるまち 曾於」  
の実現に向けた

## おもな事業を紹介します

### 快適で安全な生活環境 のまちづくり

**交通対策事業**  
(思いやりタクシー・バス運行補助事業)  
7,883万 6千円

高齢者など交通弱者の交通手段を確保し、農村部と市街地の交流促進と福祉の向上を図ります。



**災害対策費**  
3,363万 7千円

地域の防災力を強化するため、災害時の対応能力を向上させ市の防災体制の強化を図ります。

**消防車両購入事業**  
5,535万 5千円

市民の生命・身体・財産を火災・水害から守るため、消防車や付属備品の更新などを行います。

### みんなで支え合う 子育て・教育のまちづくり

**子ども・子育て支援給付費**  
15億 8,161万 5千円

特定教育・保育施設に対し、施設型給付費を支給することで、子どもの健全育成や保育・幼児教育の充実を図ります。

**子育て家庭おむつ等支援事業**  
335万 4千円

出産のお祝いと子育て支援の一環として、出生届出時から1歳児相談時までの乳幼児を対象に紙おむつなどを支給します。

**スクールスタートアップ事業**  
2,500万円

新1年生として小中学校などへ入学する児童生徒が円滑に新たな学校生活を送るために必要な支援を行います。

**末吉小学校校舎改築事業**  
17億 2,139万 4千円

末吉小学校校舎の老朽化にともない、新たに小学校校舎を建築し、児童の安全確保と学校教育の充実を図ります。

### 誰もが健康で安心して 暮らせるまちづくり

**健康増進事業**  
6,578万 4千円

疾病の予防・早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図ります。

**曾於市小児科施設支援補助金**  
2,000万円

**曾於市小児科運営費補助金**  
750万円

安全・安心な子育て環境を整備するため、小児科医の誘致を推進し、医療体制の促進を図ります。



**訪問給食サービス事業**  
1億 2,600万円

高齢者などに対し、自立した生活の改善および健康増進と自立した生活の維持、安否確認など在宅福祉の推進を図ります。

## 市民一人あたりの予算 884,744 円

おもな経費

<p><b>民生費</b> 272,243 円</p> <p>子ども・高齢者・障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費</p>	<p><b>総務費</b> 77,975 円</p> <p>庁舎や財産の管理・選挙・戸籍や市税の賦課徴収など行政運営に要する経費</p>	<p><b>商工費</b> 107,624 円</p> <p>商工業や観光振興・思いやりふるさと寄附金推進事業などの経費</p>	<p><b>公債費</b> 89,966 円</p> <p>市の借入金返済に要する経費</p>	<p><b>教育費</b> 120,576 円</p> <p>学校や教育施設の整備・生涯学習などの経費</p>
<p><b>農林水産費</b> 72,854 円</p> <p>農業・畜産業・林業などの振興のための事業に要する経費</p>	<p><b>土木費</b> 58,882 円</p> <p>道路・橋・河川・公園など住環境を整備する経費</p>	<p><b>衛生費</b> 48,263 円</p> <p>保健衛生や環境などの健康で衛生的な生活を送るために要する経費</p>	<p><b>消防費</b> 28,716 円</p> <p>火災や風水害などの災害から生命と財産を守るための経費</p>	<p><b>議会費</b> 5,803 円</p> <p>議会の運営に要する経費</p>

## 市民一人あたりの市税負担額

106,405 円

予算を市民一人あたりに換算すると歳入のうち「市税」は10万6,045円の負担で、歳出は88万4,744円となりました。歳出を目的別にみると最も多いのは子どもや高齢者など福祉のための民生費です。

歳入10万6,405円と歳出88万4,744円の差は77万8,339円ですが、この不足額の大部分が地方交付税や国・県からの支出金や市債(借金)などでまかなわれることになります。

<p><b>市民税</b> 36,328 円</p>	<p><b>固定資産税</b> 58,332 円</p>
<p><b>軽自動車税</b> 5,944 円</p>	<p><b>たばこ税</b> 5,801 円</p>